

点検箇所・部位	点検項目	点検要領
太陽電池アレイ、架台	目視	
	太陽電池モジュールの汚れ及び破損	・ 表面に著しい汚れ、傷及び破損がないこと。 ・ 裏面(バックシート)に著しい汚れ、傷、破損がないこと。(裏面の点検が可能な場合)
	太陽電池モジュールフレームの破損及び変形	フレームに破損及び著しい変形がないこと。
	架台・基礎の状態	・ 著しい基礎のひずみ、損傷、ヒビなどの破損進行がないこと ・ 架台の変形、傷、汚れ、さび、腐食および破損がないこと (さびの進行のない、めっき鋼板の端部に発生するさびは除く)。なお、塩害地区の場合は、特にさび・腐食・破損を確認 ・ 地上設置の場合は、凍結深度の影響、積雪による沈降、不等沈降、地際腐食、架台多連結による膨張変形の有無など影響がないこと。
	太陽電池モジュール及び架台の固定	ボルト及びナットの緩みがないこと。なお、折板屋根においては、ハゼ金物の増し締めを確認すること。
	周囲の状況	陰の状態の確認、鳥の巣、雑草、樹木などの状態が安全、性能に著しい影響のないこと。
	屋根葺材の破損	・ 屋根葺材が破損していないこと、隙間やズレがなく収まっていること。 ・ 屋根葺材(折板屋根を含む)との接合部の損傷がないこと。 ・ コネクタは確実に結合され、損傷がないこと。過剰な張力がかかっていない、余分な緩みがないこと。
配線及び電線管の損傷	・ 配線に著しい傷、破損がないこと。 ・ 電線管に著しい傷、汚れ、さび、腐食、破損及び変形がないこと、及び配管・ラックの防水、支持・固定状態を確認すること。	

点検箇所・部位	点検項目	点検要領
接続箱 (PCS内蔵型を含む)、 集積箱	目視及び操作	
	外箱の腐食及び破損	外観に著しい腐食、さび、傷、及び機能を損なう可能性のある破損がないこと。
	扉の開閉及び施錠	扉の開閉に異常がないこと。また、鍵付の場合は施錠ができること。
	外箱の内部の状態	・ 塵埃、雨水、害虫、小動物などの侵入がないこと。 ・ 著しい汚れ、腐食、さび、破損、変形がないこと。
	設置状況	外箱の固定ボルトなどに緩みがなく確実に取付けられていること
	電線管の破損	配線ケーブルを納める配管に著しい傷、腐食などがいないこと。
	接地の確認	接地線に著しい傷、破損がなく、正しく接続されていること。
測定	絶縁抵抗(太陽電池モジュール—接地間)	ストリング毎に測定した絶縁抵抗0.2MΩ以上であること
	絶縁抵抗(接続箱出力端子—接地間)	1MΩ以上であること。
	開放電圧	ストリング毎に測定した電圧に異常がないこと。

点検箇所・部位	点検項目	点検要領
PCS	目視	
	外箱の腐食及び破損	外観に著しい腐食、さび、傷、及び機能を損なう可能性のある破損がないこと。(鍵付きの場合)扉の施錠がされていること
	電線管の破損	配線ケーブルを納める配管に著しい傷、腐食などがいないこと。
	異常音など	運転時の異常音、異常な振動、異臭及び異常な過熱が無いこと
測定	絶縁抵抗	1MΩ以上 ・ 単相3線100/200V主回路端子台U-O間、W-O間はAC101±6Vある。 ・ 三相3線200V / 三相4線式灯力併用配電線主回路端子台U-V、V-W、W-U間は、AC202±20Vである。 (系統電圧が高いと出力電力抑制が動きやすいことに留意)
	系統電圧の測定	